中国地方から国会へ 2年… 第192回臨時国会 でも奮闘

中国地方の声をまっすぐに届けて

日本共産党
衆議院議員
（比例・中国）

大平喜信（おおひら よしのぶ）

2017年 さらに前進!!

日本共産党の大平喜信衆院議員は、ＴＰＰ、年金カット法、カジノ推進法など安倍政権が強行・暴走した第192回臨時国会（昨年12月17日閉会）でも、「安倍政権の暴走ストップ」「国民・住民の願いを国会へ」と奮闘しました。

Yoshi!!メーター（質問カウンター）

第192回臨時国会 08（3回の討論発言を含む）

通算 039 本会議・委員会の討論など 13回

2016年10月19日 文部科学委員会

給付奨学金の実現と拡充を

無利子奨学金 残存適格者の解消と成績基準の撤廃を

第192回臨時国会での初論戦は、10月19日の文部科学委員会。大平喜信議員は、安倍首相が所信表明演説で掲げた奨学金の充実を強く迫りました。

安倍首相が「給付型の奨学金も来年度予算編成のなかで実現する」と明言している給付型の奨学金で大平議員は、「文科省が検討している給付型奨学金の対象は、生活保護世帯など約16万人であり、進学率7割とすれば全学生の約12％にとどまる」と指摘。「希望する誰もが進学できるための制度がこの程度でよいのか」とただしました。

また、無利子奨学金でも安倍総理の所信表明を紹介し、「2万4千人の残存適格者は解消され、成績基準はなくすということで間違いないか」と迫りました。

松野文科相も「できるだけ多くの方にという思いは同じ」と答弁しました。

多くの傍聴者で注目された大平質問

問題が多い政府の「給付型奨学金」

昨年末閣議決定された17年度予算案で、「給付型奨学金」が新設されました。しかし、1学年2万人、2～4万円というきわめて不十分なもの。成績によっては給付廃止や返還を求められるなど、多くの問題があります。いっそうの運動が求められています。

2016年11月17日 災害特別委員会

従来の枠超えた支援を求める

鳥取中部地震 住宅の一部損壊へ支援を

大平衆院議員は11月17日の災害対策特別委員会で鳥取県中部地震の住宅一部損壊への支援や、広島土砂災害に関連して土砂災害警戒区域指定の促進など、従来の枠を超えた国の支援を求めました。

大平議員は「鳥取県中部地震の場合、住宅被害の大部分を占めるのが一部損壊であり、屋根瓦の修復に数百万円かかるという例もある。『生活再建支援法』の対象外だが、支援策が必要だ」「鳥取県は一部損壊への支援を再開した。国として支援を」と求めました。

2年前の広島市土砂災害に関連して大平議員は、全国平均に比べて広島県・広島市の土砂災害警戒区域の指定が遅れている実態を指摘し、「基礎調査の着実な実施のため、国の補助率の引き上げなども検討すべきだ」と迫りました。

〒100-8981 東京都千代田区永田町2－2－1 衆議院第1議員会館1108号 大平喜信事務所